平成29年度　利尻高校　出前体験授業

本年度の「出前体験授業」は大学・専門学校から６名の講師を招き、対象を１年生から３年生まで広げ、９月２２日（金）３・４校時に行いました。知識や興味・関心を高め、進路選択について考える機会を増やすことを目的に、生徒は６つの講座の中から２つ選んで授業を体験しました。どの講座も充実した素晴らしい内容で、生徒は進路希望にかかわらずしっかり学び、進路選択について考える機会になりました。改めて遠いところわざわざ出向いていただいた講師の先生方に感謝申し上げます。

以下、出前体験授業の感想を紹介します。

グローバル企業ではどんな英語が使われているの？

北海学園大学経営学部　内藤　永（ひさし）　教授



◆最初は英語で話していたので、理解できるか楽しくできるかとても不安な気持ちでした。ですが、重要な所や大切なところは日本語で分かりやすく話して下さったので、とても楽しかったです。将来についてや興味のあることをさらに考え直すことができたので、とても良い経験になりました。（1 年女子）

◆全部英語だけという授業を受けたことがなかったので、とても楽しく受けることができました。どういう風に英語が使われているかなどを詳しく教えていただき、とても進路のためになりました。（2 年男子）

◆「中小企業でさえアジアに進出している」それだけグローバル化が進んでいることが分かった。日本人が外国に行ったり、外国人が日本に来るときには必ず言葉の壁を乗り越えなければならないから、最低レベルの英語力は身につける必要があると思う。「世界で英語を話す人は 20 億人」→英語を話せるようになれば 20 億人とコミュニケーションが取れる。日本語だと 1 億 2 千万人としかコミュニケーションを取れないと考えると、英語の大切さが身に染みた。（3 年女子）

テレビとは違う？救急看護の世界

北海道医療大学看護福祉学部　神田　直樹　講師



◆私は一度倒れて病院に行ったときに、看護師の方が声をかけてくれて嬉しかったので、救急看護の世界を聞きに行きました。看護師がいろんな事をやっていて休む暇なく働いていることが分かり、タフだと思いました。あとはコードブルーみたいなフィクションも入っていて普通やらないこともすることが分かり、面白い時間でした。（1年男子）

◆私は看護師になりたいわけじゃないけど興味があったので受けました。看護師は負傷者と関わったりして大変なこともたくさんあると思いますが、ある現場の動画を見て看護師さんは格好いいなと思いました。けがしている人だけじゃなくその家族の人にも気を遣っていました。初めて医療の講義を受けてみて良かったです。（2年女子）

◆「看護師の仕事はどういうものか」を実際の医療現場の映像を見ながら考えたり、患者と看護師を演じて現場の様子を再現し、具体的に看護師の仕事内容を知った。その中でもドラマ「コードブルー」を混ぜながら、分かりやすく救急医療の現実を説明して下さり面白かった。インターンシップとは別の学び方で、看護の知識を増やすことが出来たと思う。（2年女子）

“コミュカ”を科学する

～ﾋｭｰﾏﾝ・ｴﾗｰの認知心理学からみたｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力とは？～

北星学園大学文学部　後藤　靖宏　教授



◆コミュニケーション能力を向上させるためにヒューマンエラーを考えて、それがなぜ起こるのかを心理学で考えるという風に上手くつながっていて、少

し驚いた。教授のお話しも面白かった。人間の目の錯覚なども実際に自分で体験してみて、人間はすぐ錯覚を起こすものなのかと改めて驚いた。とても有意義な時間を過ごせたと思う。（1 年女子）
◆目から鱗が落ちるようなとても良い授業でした。自分の考えていたコミュ力とは実際は違っていて、これなら 90 分受けてみたいと思いました。あと、「心理学とはどんなものだと思いますか」という質問をされたんですが、その質問の答えが自分の出した回答で合っていて驚きました。（1 年女子）
◆ヒューマンエラーの例を聞いて「これあるあるだ！」と思ったり、心理学はどういうものなのか少し興味があって、少しでもどういうものなのか学ぶことができたので良かった。自分が予想していたより面白い授業で興味が湧いた。（2 年男子）

地域経営論から利尻の未来を考えてみよう

札幌学院大学法学部　石井　和平　教授



◆講師の方が利尻について沢山のことを調べていた。そこから利尻の課題を見つけていくことがとても考えさせられた。実際の島々のよくある課題を克服した島を利尻島と対比させたことがとても分かりやすかった。（1 年男子）
◆今の高校生が利尻の良さを見つけ、この利尻をもっとアピールしていくことが必要だと感じました。私は利尻に残るので、地元に誇りを持ち生活していきたいと思いました。利尻にはまだまだ活用できる地域や場所が沢山眠っていると思います。そんな利尻の良さを発見して、この島をもっと周りに知られるよう頑張ります。（2 年女子）
◆利尻島のこれからの発展のために持続可能な地域体制が必要だということが伝わってきました。島には活用できる資源がまだあると思うので、広い視野を持って発見していきたいと思います。そして、持続可能な町作りをするための可能性を見つけて行動を起こしていこうと思います。二次試験の面接にも活かせる内容だったので、今回受講できてよかったです。（3 年男子）

Scratch でゲームプログラミング体験

北海道情報専門学校　桂田　光彰　講師

◆体験を通してプログラミングの楽しさや仕組みを教えていただきました。今回は簡単なプログラミングでしたが、難しいものにも興味が湧きました。またこういった体験が出来る機会があったら参加してみたいです。（1 年男子）



◆将来的に情報系の大学へ行きたいと思っている為、話を聞いてとてもタメになった。初歩的なプログラミングも体験できて、有意義な時間だった。今回体験授業で使用したソフトが無料のものだと聞いたから、家で時間があればダウンロードして、もっと色々いじってみたいと思う。（1 年女子）
◆ゲームのプログラミング体験をさせてもらって私はエクセルと少し似ている部分があると思いました。プログラム体験はとても楽しく、話も驚くことばっかりでしたが、説明もとても分かりやすかったです。（2 年男子）

保育士・幼稚園教諭の仕事について(技術編)

～体験学習：音楽・リズム遊び～

経専北海道保育専門学校　青木　奏絵　講師



◆今日は青木先生の授業を受けました。歌を歌ったり手遊びをしたり恥ずかしいと思ったけど、授業を受けてみたらとても楽しかったし、また青木先生の授業を受けたいと思いました。まだどんなところで働きたいとかは決まっていませんが、来年の出前体験授業の時までに決められるようにします。今日はとても楽しかったです。（1年女子）

◆子供が好きだから受けたけど、これ小さい頃やったなとか思う遊びや歌遊びがあった。子供はもちろん、大人も子供と楽しみながら学べるものだと思ったし、興味がわいた。（2年男子）

◆保育に興味があり、将来つきたいと思っている職業でもあったので、話を聞いたり体験できて良かったです。インターンシップでも体験して保育は大変だなと思っていたけど、話を聞くと「大変な子だからこそ手をかけられるからとても可愛いし、良く覚えている」と言っていて、大変な中にもうれしさや思い出がたくさんあるんだなと思いました。（2年女子）